

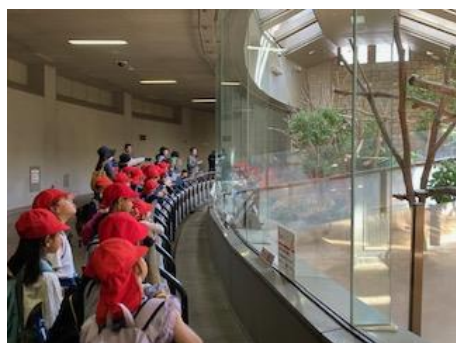
ひびき

教育目標「なかよく かしこく たくましく」
——一人一人を大切にする「風通し」のよい学校——
多治見市立共栄小学校 R5.11.30

校外学習(生活科・社会科見学)がありました!

—コロナ禍を経た今、「当たり前」に行けることに心から感謝です—

共栄小学校長 加藤 隆史



東山動植物園(1年生) 10/13



中津川市科学館(2年生) 11/24



瀬戸蔵ミュージアム
多治見南消防署(3年生) 10/19



うだつのあがる街並み
美濃和紙の里会館(4年生) 11/22



ヤマザキマザック博物館
若尾製菓(5年生) 10/12



リトルワールド(6年生) 10/27

10月12日の5年生を皮切りに、11月24日の2年生までで、全ての学年の校外学習が無事に終わりました。幸いなことに全学年が天候に恵まれ、好天のもとでの活動となりました。子どもたちの思いや願いに天気も応えてくれたかのようでした。

こうした校外学習は、生活科や社会科の学習を自分の目でみたり、聞いたりすることで、学びを深めることが大きなねらいです。しかし、それと同じくらいに、仲間と共に活動することの大切さを学ぶという点で大きな意味をもつ行事だと私は考えています。学校外で仲間と一緒に同じものを見たり、体験したりして感動体験を共有することで共に活動することの楽しさを実感できます。また、みんなでめあてや約束をつくり、それを守ることが「本当の楽しさ」につながるという規範意識の意義を実感できるものです。

そして今年度は、バスの中でのバスレクが再開されバスレク班を中心に元気な声が飛び交いました。お弁当はグループごとにまとまって笑顔でにぎやかに食べることができました。子どもたちの笑顔を見ていると「当たり前」にできることの有り難さをあらためて感じます。

しかし、新型コロナウイルスやインフルエンザの波は完全に消えたわけではありません。当日、体調不良等で校外学習に参加できなかった児童もいます。きっと当日を指折り数えながら楽しみにしていただけに残念な思いをしていることと思います。こうした子どもたちにも一人一人寄り添っていきます。そして、学校内でも仲間と共に活動する楽しさを多く味わわせていきたいと考えています。

